

# 家畜衛生だより 平成30年7月号

紀北家畜保健衛生所	電話	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	電話	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	電話	0735-58-1481

## 【野草給与の落とし穴に要注意】

初夏を迎え、休耕田等には野草が青々と生い茂っています。最近、原油価格が高騰するに伴い粗飼料価格も上がり、飼料コストの低減を試みている農家の方も多いと思われます。野草を刈り取り粗飼料の代わりにしたり、また、休耕田に放牧し直接野草を食べさせたりしている皆さん、次のことに注意してください。

### ◎代表的な有毒植物

刈り取った、または放牧場所の野草の中に、牛が食べて中毒を起こすような野草が混入していませんか？ 植物によっては中毒を引き起こし、死に至るケースもあるので、必ず植生調査を行いましょう。

牛は普通、毒のある植物を食べませんが、万が一のため有毒植物を見つけたら刈り取りましょう。また、野草を刈り取って与えている場合は混ざっている有毒植物をそのまま食べてしまうため、取り除きましょう。



キョウチクトウ：ごく少量で心臓毒性により死亡。



シキミ：神経症状を起こし死亡。



ワラビ：血便、血尿、貧血を  
起こし、重篤な場合死亡。



アセビ：胃腸炎、全身麻痺など。

…その他、イチイ、ヨウシュヤマゴボウ、ドクゼリなど様々な有毒植物が身近に生えています。

### ◎ダニの寄生

放牧の場合、ダニの駆除を十分に実施しましょう。マダニが媒介する疾病の中にも重篤な場合、死に至るケースがあるので要注意です。フルメトリン製剤を春から秋の間に月1回程度、首から尾にかけて滴下することでマダニの寄生を予防できます。



牛体に寄生しているマダニ。



フタトゲチマダニ：

体長…吸血前 1.5～3.0 mm

吸血後 約 20 mm

**気になることや不明な点がありましたら、  
所轄の家畜保健衛生所にお問い合わせください。**